

第22回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」

〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレバス内

TEL:(06)6910-8800 FAX:(06)6910-8837

2015年3月発行

HPアドレス:<http://www.craypas.com/satooya/index.html>

新年交流会

西澤 信夫 (幹事)

恒例の新年交流会が本年も1月17日(土)に大阪日本語教育センターで盛大に開催されました。参加留学生の中の20名以上がボランティアの方々のご協力により着物を着させていただき、新年会にふさわしい華やかな雰囲気となりました。

アトラクションはまず田仲さんが日本舞踊「松竹梅」を、タイからの留学生二人も「さくらさくら」の新春にふさわしい日本舞踊を披露してくれました。その後、家族単位での歌が続きましたが、「ドラえもん」の歌をベトナム語と日本語で、「Let it go」を6か国語で、各国の国歌をそれぞれの言語で歌っていただき、趣向を凝らした素晴らしい歌声に大きな拍手が送られていました。歌の合間に米粉で作ったインドネシアのお菓子の紹介があり、各テーブルで実際に賞味し、ココナッツ風味の味が好評でした。そのほか、中国語の歌や妖怪ウォッチ・第一体操の踊りもあり、会場も大いに盛り上がりました。

アトラクションの最後は日本語教育センターの多国籍の留学生による「アフリカの踊り」が披露され、ビートの効いたリズム感あふれる6人の踊りが会場を魅了しました。さらにマイクロネシアのポナベ島の踊りを2人の留学生が披露し、会場は南国ムードいっぱいとなりました。どちらも練習を重ねて音楽にぴったり合った踊りに、会場から大きな拍手が送られていました。

今年は多くの留学生の参加を得て集合写真を撮るのに少し時間がかかりましたが、着物姿が映えて絵になる記念写真となりました。

最後はお楽しみのビンゴゲームで盛り上がり、3時間余りの新年交流会もあっという間に閉会となりました。

本年も多くの皆さんにご参加いただき、国際色豊かなとても楽しい新年交流会となりました。ご協力・お手伝いいただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



—楽しい留学生さとおやの会に参加して—

大阪市立大学大学院文学研究科
魏薇（中国）

あっという間に今年（2014年）も終わりに近づいてきました。私にとって、今年は一連の変化がありました。まずは大学院に入りました。今年の四月に大阪市立大学に入学して、斬新な1ページが私の前に開いたのです。それをきっかけに留学生さとおやの会を知り、さとおやとなる吉村さんと出会いました。



吉村さんとの初対面は印象深かったです。スーツ姿がとても穏やかな人で、目には優しい光が光っていた。この人なら、そんなに怖くないと自分の中でつぶやきました。最初の自己紹介で疎遠な気持ちは一切ありませんでした。そして、話が進めば進むほど、その感じの通りで本当に優しい人です。びっくりすることに、お手持ちの手帳に私たちの好き嫌いを一つ一つ書いてくれました。出身地を聞いてくれた時、彼が中国に詳しいことに驚きました。なんと私の出身地、吉林省というところの詳細位置まで知っています。親近感が一気に湧いてきました。

こんなに優しい吉村さんに連れられ、いろいろな所に行ってきました。例えば美術館、コンサート、歌舞伎等々。日本の普段見えない顔の部分を見せてくれました。お蔭で、違う側面の知識も分かるようになりました。もちろん、気持ちの面だけでなく、美味しいものいっぱい食べさせてもらいました。そして、それらの店は趣が溢れているものでした。例えば、クリスマスのは知る人ぞ知る店に連れて行ってもらいました。フランス料理の専門店、家族で経営しているお店です。吉村さんはその常連みたいで、店に入ってすぐシェフが親切に迎えてくれました。そのインテリアはとても特別でした。オープンキッチンの料理台まではっきりと見えるのです。高級レストランなのに拘束感はない。吉村さんのお気遣いに感謝します。幸せな雰囲気、心が暖まりました。こんな気楽のところ、お料理を存分に楽しませてくれました。

そしてまた、吉村さんのお蔭でお友達も作りました！アメリカのケンドルさん、マレーシアのフォンさん、中国の仲さん、留学生さとおやの会でみんなを知り、大変嬉しいです。

さとおやの会の感想

帝塚山大学経営学部
フォンイーリン（マレーシア）

大阪日本語教育センターを通してさとおやの会に参加して3年になりました。私は奈良の遠足と留学生新年会に参加した。そこで、いろんな国からの留学生と素晴らしい日本人や立派な先生などと出会った。それから、3年前に私はタイからの友達と吉村ホストファミリーになった。私達の母国語や文化や習慣などは全く違うが、さとおやの会のおかげで私達の縁が結ばれた。



また、日本の文化は母国と違い、さとおやの会に参加してたくさんのことを体験することができた。例えば、奈良の遠足の時に、素麺の作り方を体験した。楽しい思い出ができた。そして、留学生新年会の時に綺麗な着物を着させてもらうことは人生初めての体験だった。日本の文化

だけではなく、私は違う国からの留学生と交流し、お互いの国の文化もわかるようになった。中にはベトナム、インドネシア、台湾などがある。

次に、日本語の勉強もできることは交流会に参加してから気づいた。前は日本語を話す自信はなかったが、今は恥ずかしがらずに話せるようになった。

それから、分からない日本語や覚えにくい単語もたまたま日本語の会話から出てくる。その場を借りて日本語も勉強できると考える。

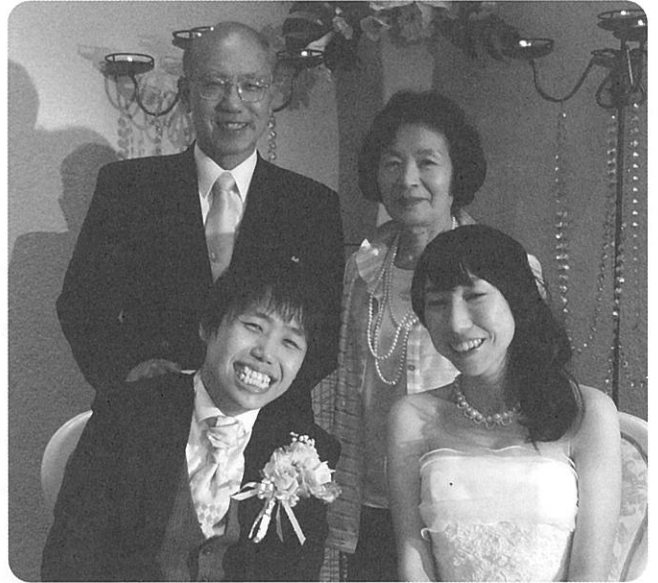
私はさとおやの会に参加できてとてもラッキーだと思う。さとおやの会を通して素晴らしい人達と出会ったり、優秀な留学生達と交流したりすることができて良かった。更に、日本の文化もわかるようになった。たくさん体験や挑戦することもある。私にとってはコミュニケーションが大切だから、これからも積極的に交流会に参加したいと思う。



里子と私の絆

牧山 輝雄 (奈良市)

里子クルニアワン・リサンディ君と私の里子・里親の関係は2006年の出会いから溯ること約十年になります。多分、「留学生さとおやの会」が発足した頃の出会いだと思います。リサンディ君は日本のアニメやゲームの技術に憧れ、その技術を学ぶため日本に留学する決意したそうです。来日してから大阪日本語教育センターで一年間日本語を勉強し、それからIT関連専門学校に進学し、大阪通信大学に編入し、2011年卒業と同時にIT企業の「楽天」に就職し、大阪から東京に転居されました。彼は東京に移ってからも宗教の奉仕活動に励み、その活動を通じ可愛い美人の娘さんと知り合い結婚する事になりました。2014年6月28日に東京で結婚式を挙げられました。このお目出度い挙式にインドネシアからご両親、ご兄弟が来日され私たちと旧交を温めると共に、我々夫婦も日本に於ける里親として、いえ親族の一員として



彼の結婚式に参列させて頂く事になりました。結婚式には驚くほど多くの国々から多くの人々が参列され、それはそれは国際色豊かで華麗な中にも厳かな立派な結婚式でした。彼は本当に人柄が良くいつも笑顔が絶えない好青年のため、誰からも愛され友達も多く、その結果がこの様な素晴らしい結婚式に繋がったと思われます。この様な結婚式に参列する事が出来たのも、「留学生さとおやの会」のお蔭だと深く感謝申し上げます。大阪商工会議所の里親活動から現在の『留学生さとおやの会』まで四〇余年この種の活動に携わって参りましたが、この様な結婚式まで参列できるのはほんの一例にすぎません。現在までの私の経験から多くの場合、その関係は自然消滅になる事が多いかと思ひます。里親の皆さんも多種多様なご経験をお持ちでありますが、その経験を生かし、今後とも「留学生里親の会」の益々の発展に協力していこうではありませんか。



2006年対面の会

彼の結婚式に参列させて頂く事になりました。

結婚式には驚くほど多くの国々から多くの人々が参列され、それはそれは国際色豊かで華麗な中にも厳かな立派な結婚式

新年交流会に参加して

玉那覇 梓

昨日は、素敵な会に参加させて頂いてありがとうございました。素敵なお着物を着せて頂いて、とても良い記念になりました(^^)。普段、外国の方と交流する機会など全くないので、留学生の方々とお話はとても楽しく貴重な経験でした。催しのピンゴゲームやそれぞれのfamilyの出し物等、楽しい企画を準備して下さい、時間が経つのがあつという間でした。留学生の方が安心して日本で学べるように、里親さんのすごいサポートがあって支えられているんだと感じました(^^)。本当にありがとうございました。

今西 摩満

先日、母がさとおやの会の児玉様と知り合いということからお声をかけてくださり参加させていただいた今西摩満です。私は学校が外国語大学なのですが、性格上自分から進んで外国の方に話しかけるということができず、今までこのようなたくさんの方と話すという経験がありませんでした。けれども、今回の交流会を通じて色々な国からの留学生の友達とお話をしたり、連絡先交換もさせていただきました。本当に嬉しく、良い機会をくださったことに感謝しています。

故郷を離れて日本へ独りで留学をしてこられている皆さんですが、とても明るく、フレンドリーな方ばかりで、日本の里親さんたちの優しく見守る目が感じられました。今でも連絡交換通した留学生の方と英語で会話をさせてもらったりしています。最初は参加することを躊躇していましたが、本当に行って良かったと思っています。お誘いいただき、ありがとうございました。



左から2人目 今西さん、右端 玉那覇さん

交流遠足 (奈良)

10月4日バス1台と乗用車2台、59名もの方々の参加をいただき、にぎやかに遠足に出かけました。

まず、平城京跡の朱雀門に立ち寄り記念撮影、そのあと奈良筆の「あかしや」の工房を見学しました。奈良筆の歴史や製作過程について水谷社長様自ら詳しく説明をいただきました。近くのホテルアジュール奈良アネックスでお腹いっぱいランチバイキングを楽しんだ後は三輪そうめん山本の「麺ゆう館」を目指しました。

この「麺ゆう館」は第1回目の遠足で好評得た所で、最近本社に移設されたことをお伺いしたので再訪しました。ビデオルームで手延そうめんの製造工程を見せていただいた後、

そうめん延ばしを体験します。手延べそうめんは引っ張りながら細くしていきます。切らないように注意しながら少しずつ延ばしていきますが、なかなか難しく。みんなで声をかけ協力しながら楽しくチャレンジしました。全く切らないで作った人には三輪そうめん山本さんからプレゼントを頂戴しました。自分で延ばして作ったそうめんを持って帰り、茹でて食べた作りたてのそうめんの味は格別でした。

最後に「JAならけんファーマーズマーケット」に立ち寄り農産物のお土産を手にして帰路につきました。里親さんと里子さんの心に残る楽しい一日になった事と思います。各方面でお世話になった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。また次回をお楽しみに。



編集 後記

平成26年度の活動もほぼ終了しました。各イベントには大勢の方々にご参加ご協力いただき、ありがとうございました。

ご連絡が遅くなりましたが、今年のワンワールドフェスティバルには参加を見送りました。会場も変わり、フェスティバル自体も少しずつ変わってきているので、このあたりで一旦リセット、見直してみようということになりました。皆様のご意見がありましたら、是非お聞かせくださいませ。

4月に入ると新しい留学生たちとのマッチングがあります。たくさんの留学生を受け入れるためにも、里親になってくださる方々をご紹介しますよう、よろしくお願いいたします。

(事務局)